

# 神浦川総合開発事業

## 事業概要



長崎県

(H30.5)

## 事業概要

神浦川は、長崎県長崎市長浦岳（標高 561m）に端を發し角力灘へと注ぐ、流域面積 28km<sup>2</sup>、延長 9.5km の二級河川である。

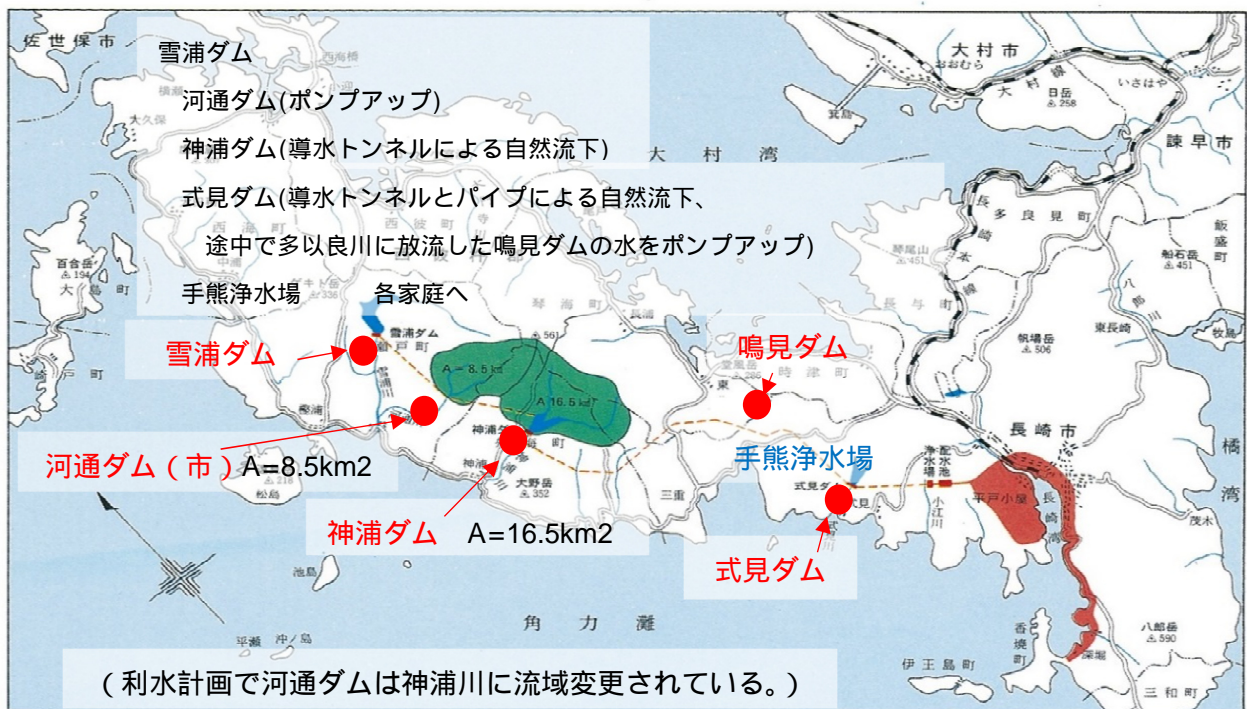
流域は比較的急峻であり、年間降水量も約 1,900mm 程度で、台風及び集中豪雨時には洪水被害を蒙っている。

長崎市の水事情も、水道用水の需要の増加により、昭和 39 年来の湯水期には、極度の制限給水を余儀なくされた。

これら、治水、利水の諸懸案を解決するために、神浦川に多目的ダムを建設し、洪水調節、上水道及びかんがい用水の取得を目的とした河川総合開発事業を行った。

工期 昭和 42 年 7 月～昭和 45 年 3 月

## 総合計画概要図



鮎の放流 (H30.4)



鯉・来い祭り (H30.5)



## ダム及び貯水池の諸元

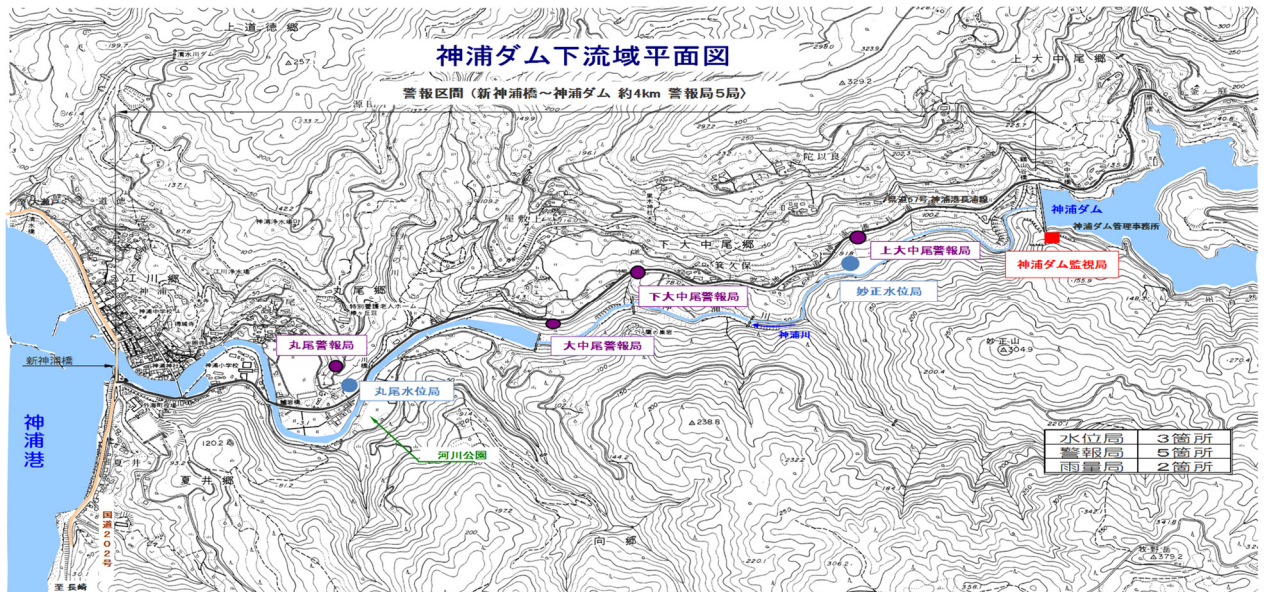
ダム名	神浦ダム		
河川名	二級河川 神浦川		
ダム位置	長崎県長崎市神浦下大中尾町		
流域面積	25.0km <sup>2</sup> (直接 16.5km <sup>2</sup> 、間接(河通川)8.5km <sup>2</sup> )		
目的	洪水調節、水道用水、灌漑用水		
地質	黒色片岩(泥質片岩)		
	ダム	貯水池	
型式	重力式コンクリートダム	湛水面積	0.414km <sup>2</sup>
堤高	51.0m	湛水延長	2.9km
堤頂長	210.0m	総貯水容量	6,840 千m <sup>3</sup>
堤頂幅	3.50m	有効貯水容量	6,280 千m <sup>3</sup>

## 工事施工

コンクリート打設設備	リフター・プラットフォーム 28s2 基、ケーブルクレーン 4.5t 1 基	
湛水	S44年10月(管理開始) S45年9月)	
事業費	1,770,000 千円	
事業費振分	公共 592,000 千円	上水道 1,178,000 千円

## 既往洪水

年月日	連続雨量 (mm)	最大流入量 (m <sup>3</sup> /s)	最大放流量 (m <sup>3</sup> /s)	最高貯水位 (m)
H18.6.26	373	188.3	42.4	113.0
H30.7.6	271	153.6	92.3	112.43
R2.7.6	578	400.4	150.8	113.65

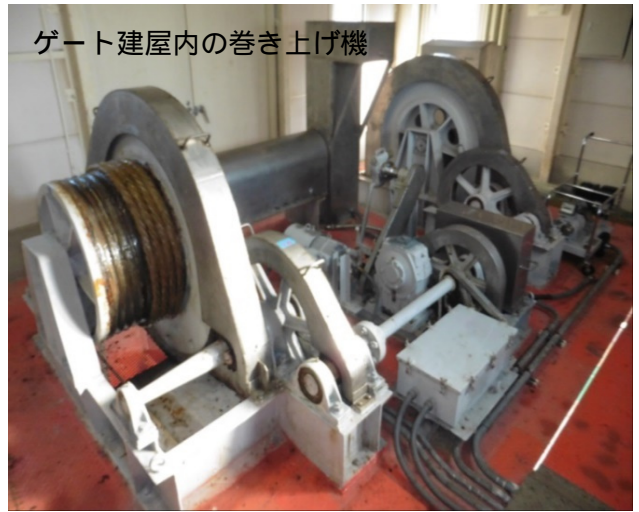




ゲート建屋



ゲート建屋内の巻き上げ機



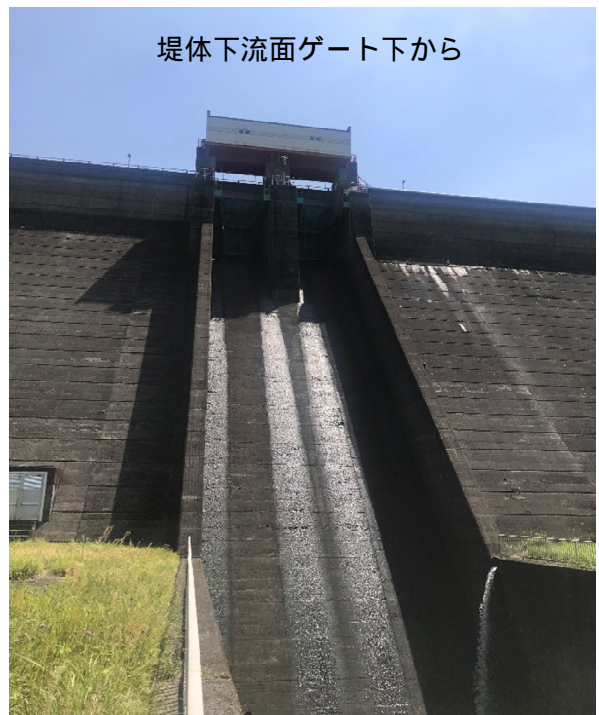
堤体左岸下流面下の利水放流設備



堤体左岸下流面下の河川維持水放流設備



堤体下流面ゲート下から



堤体左岸下流面下の利水送水口

